

## 要安全確認計画記載建築物（防災拠点建築物（第1次指定分））の耐震診断結果の公表

令和6年3月31日現在版 福島県建築指導課

### ■耐震診断結果の総括表

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる可能性は低く、倒壊するおそれはない。

所管行政庁	建築物の数			地震(震度6強以上)に対する安全性			工事中 (内数)	耐震化率
	計	所有者の区分		I	II	III		
		公共	民間	倒壊・崩壊の危険性が 高い <small>現行耐震基準未滿(耐震改修等の努力義務あり)</small>	倒壊・崩壊の危険性が ある	倒壊・崩壊の危険性が 低い <small>現行耐震基準相当</small>		
福島県	<u>45</u>	<u>44</u>	<u>1</u>	<u>14</u>	<u>8</u>	<u>23</u>	<u>2</u>	<u>51.1%</u>
福島市	46	43	3	2	0	44	0	95.7%
合計	<u>91</u>	<u>87</u>	<u>4</u>	<u>16</u>	<u>8</u>	<u>67</u>	<u>2</u>	<u>73.6%</u>

※1つの建築物に対し、診断結果が複数ある場合は、安全性が低い方のランク（I>II>III）で集計しています。

※福島市所管分については、所管行政庁である福島市において、結果の公表を実施しています。

※耐震化率は地震（震度6強以上）に対する安全性がIIIの建築物を建築物の総数で除したものです。

※市町村地域防災計画の避難所から除外された建築物等を除いて集計しています。

要安全確認計画記載建築物(防災拠点建築物)の耐震診断結果(所管行政庁:福島県)

令和6年3月31日現在

■第1次指定

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I,II,III)	耐震改修等の予定		備考 (改修予定等の補足)
										内容	実施時期	
A	B	C		D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	二本松市	塩沢住民センター		二本松市塩沢町1-238-1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.32$ $C_{TU} \cdot S_D=0.99$	III			耐震改修済み 令和3年6月完了
2	二本松市	石井住民センター		二本松市平石町365-1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.24$ $C_{TU} \cdot S_D=0.98$	III			耐震診断の結果耐震性有
3	二本松市	新殿住民センター		二本松市西新殿字西1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.864$	III			耐震診断の結果耐震性有
4	二本松市	旭住民センター		二本松市百目木字向町126	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.77$ $C_{TU} \cdot S_D=1.33$	III			耐震診断の結果耐震性有
5	二本松市	戸沢住民センター		二本松市戸沢字下田100	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.81$ $C_{TU} \cdot S_D=1.35$	III			耐震診断の結果耐震性有
6	伊達市	保原体育館		伊達市保原町字宮下111-4	体育館	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.06$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	III			耐震改修済み 平成30年3月完了
7	川俣町	川俣町中央公民館		川俣町字樋ノ口11	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_S/I_{S0}=1.01$ $CTU \cdot SD=0.77$	III	耐震基本計画 耐震補強設計 耐震改修	完了 令和2年3月 完了 令和3年3月 着手 令和3年6月 完了 令和4年6月	耐震改修済み 令和4年6月完了
8	川俣町	福田公民館		川俣町大字羽田字姥作6	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=2.5$ $C_{TU} \cdot S_D=1.5$	III			耐震診断の結果耐震性有
9	川俣町	山木屋公民館		川俣町山木屋字小塚5-8	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.3$ $q=1.29$	II	検討中	未定	
10	田村市	滝根行政局	A棟	田村市滝根町神俣字関場118	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=0.41$ $C_T \cdot S_D=0.40$	I	建替を検討中		
		B棟	$I_S/I_{S0}=0.88$ $CT \cdot SD=0.42$									
11	田村市	大越体育館		田村市大越町上大越字元池175	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_S=0.75$ $q=2.085$	III			耐震改修済み 令和2年3月完了

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考(改修予定等の補足)
										内容	実施時期	
A	B	C		D	E	F	G	H	I	J	K	L
12	田村市	常葉体育館		田村市常葉町常葉字宮川12	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=1.00$ $q=3.19$	III			耐震改修済み 平成30年2月完了
13	田村市	七郷地区公民館		田村市船引町門沢字新館117	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.60$ $C_{TU} \cdot S_D=1.20$	III			耐震診断の結果耐震性有
14	平田村	勤労者体育センター		平田村大字永田字切田158-4	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.82$ $q=1.48$	III			耐震改修済み 令和3年3月完了
15	白河市	白河市役所本庁舎		白河市八幡小路7-1	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.457$	III			耐震改修済み 令和3年3月完了
16	西郷村	西郷村役場庁舎		西郷村大字熊倉折口原40	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.60$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	II	建替	工事中 ~令和7年度	
17	矢吹町	三神公民館		矢吹町神田西130-3	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.50$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	II	耐震改修	工事 令和6年度	長寿命化計画に基づいた改修を実施予定。
18	矢吹町	矢吹町役場庁舎		矢吹町一本木101	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.77$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	II		令和10年度完了目標	
19	会津若松市	会津若松市役所本庁舎		会津若松市東栄町3-46	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=0.27$ $C_T \cdot S_D=0.26$	I	会津若松市庁舎整備基本計画を踏まえ、本庁舎旧館の改修及び建替えにより、令和7年までの耐震化を予定		
								$I_s/I_{s0}=0.40$ $C_T \cdot S_D=0.37$				
20	会津若松市	北公民館		会津若松市高野町大字上高野字村前28	集会場	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.82$ $C_{TU} \cdot S_D=1.39$	III			耐震改修済み 令和5年9月完了
21	会津若松市	南公民館		会津若松市門田町大字中野字大道西13	集会場	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.70$ $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	III			耐震改修済み 令和4年3月完了
22	会津若松市	北会津公民館		会津若松市北会津町中荒井字宮西1-1	集会場	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.32$ $C_{TU} \cdot S_D=0.20$	I	令和7年度までの耐震化を目標に検討中		
23	会津若松市	河東公民館		会津若松市河東町郡山字中子山32	集会場	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.43$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	I	令和7年度までの耐震化を目標に検討中		

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考 (改修予定等の補足)
									内容	実施時期	
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
24	会津坂下町	若宮コミュニティセンター附属体育館	会津坂下町大字牛川字寿ノ宮1715	体育館	避難所	屋内運動場等の耐震性能診断基準 一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.16$ $q=0.51$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和7年度まで	
25	会津坂下町	金上コミュニティセンター附属体育館	会津坂下町大字福原字福川原913	体育館	避難所	屋内運動場等の耐震性能診断基準 一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.17$ $q=0.31$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和7年度まで	
26	会津坂下町	広瀬コミュニティセンター附属体育館	会津坂下町大字青木字青木139	体育館	避難所	屋内運動場等の耐震性能診断基準 一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.18$ $q=0.55$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和7年度まで	
27	会津坂下町	八幡コミュニティセンター附属体育館	会津坂下町大字塔寺字北原787	体育館	避難所	屋内運動場等の耐震性能診断基準 一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.11$ $q=0.35$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和8年度まで	
28	会津坂下町	坂下厚生総合病院	会津坂下町字逆水60	病院	医療救護施設	《要緊急大規模建築物で公表済》		III			新施設 令和3年11月開院 除却 令和6年3月完了
29	金山町	本名公民館	金山町大字本名字清水807	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	III			耐震診断の結果耐震性有
30	金山町	沼沢集会所	金山町大字沼沢字上田表962-1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.39$ $C_{TU} \cdot S_D=1.06$	III			耐震診断の結果耐震性有
31	金山町	横田公民館	金山町大字横田字居平601-1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.40$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	III			耐震診断の結果耐震性有
32	昭和村	昭和村役場庁舎	昭和村大字下中津川字中島652	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=0.49$ $C_T \cdot S_D=0.30$	I	建替	令和6年度に実施時期を決定	
33	昭和村	旧小野川分校	昭和村大字小野川字後沢508	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.85$	III			耐震診断の結果耐震性有
34	昭和村	へき地保健福祉館	昭和村大字大芦字中組48	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.43$ $q=1.74$	II	令和6年度内に方針を決定する予定		
35	喜多方市	喜多方市役所熱塩加納総合支所・熱塩加納公民館	喜多方市熱塩加納町相田字大森5000	庁舎・公民館	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.39$ $C_{TU} \cdot S_D=0.23$	I	建替	令和12年度完了目標	
36	喜多方市	喜多方市役所高郷総合支所	喜多方市高郷町西羽賀字十二林2820	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	III			耐震診断の結果耐震性有

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考(改修予定等の補足)
										内容	実施時期	
A	B	C		D	E	F	G	H	I	J	K	L
37	喜多方市	熱塩加納体育館		喜多方市熱塩加納町相田字大森5000	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.27$ $q=0.49$	I		令和10年度完了目標	令和6年度方針決定予定
38	喜多方市	塩川福祉センター		喜多方市塩川町字東岡320-1	福祉センター	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.95$	III			耐震改修済み 平成30年3月完了
39	喜多方市	山都体育館		喜多方市山都町字広中新田1165	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.15$ $q=0.47$	I		令和10年度完了目標	令和6年度方針決定予定
40	喜多方市	山都開発センター		喜多方市山都町字葎田960	庁舎	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.49$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	I	用途廃止	令和6年度	新施設建設中(令和6年10月供用開始予定)
41	磐梯町	磐梯町役場庁舎		磐梯町大字磐梯字中ノ橋1855	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	III			耐震改修済み 平成29年3月完了
42	只見町	明和振興センター		只見町大字小林字上照岡1300	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $CT \cdot SD=0.76$	II	2~3階除却	令和7年度までの耐震化を目標に検討中	耐震改修済み 平成31年2月完了 既存棟②は新耐震基準の建築物。
								$I_s/I_{s0}=0.86$ $CT \cdot SD=0.41$				1階~2階 地域防災計画の改定時に 避難所より除外する予定あり
43	川内村	川内村役場庁舎		川内村大字上川内字早渡11-24	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{s0}=0.51$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	II	移転又は改築予定	未定	
44	川内村	川内村コミュニティセンター		川内村大字上川内字小山平15	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=0.60$ $C_T \cdot S_D=0.58$	II	移転又は改築予定	未定	
45	川内村	川内村村民体育センター		川内村大字上川内字小山平501-12	体育館	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.06$ $q=0.17$	I	未定	未定	

## 附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上の主要な部分の地震に対する安全性の評価

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる可能性は低く、倒壊するおそれはない。

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、 又は崩壊する危険性が高い	II 地震の震動及び衝撃に対して倒壊 し、又は崩壊する危険がある	III 地震の震動及び衝撃に対して倒壊 し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)		$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)		$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版、2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」		上部構造評点 < 0.7	左右以外の場合	$1.0 \leq$ 上部構造評点